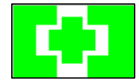
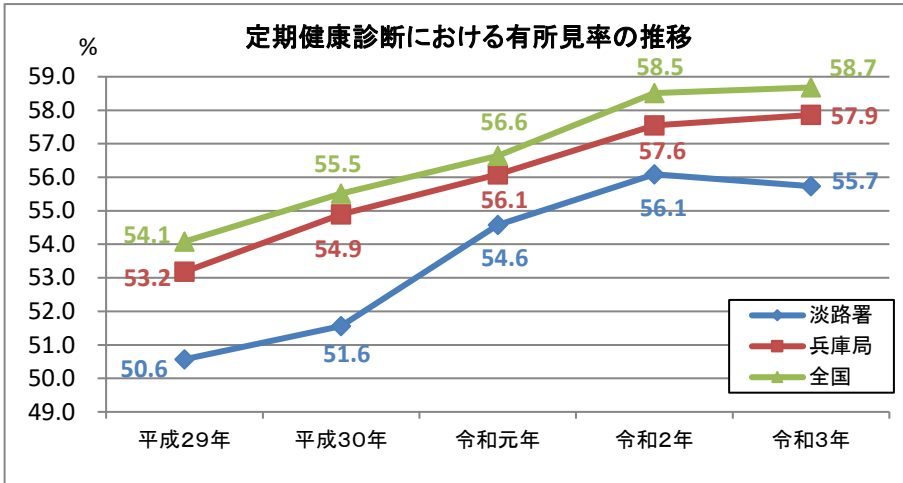


令和3年 定期健康診断における有所見率の状況



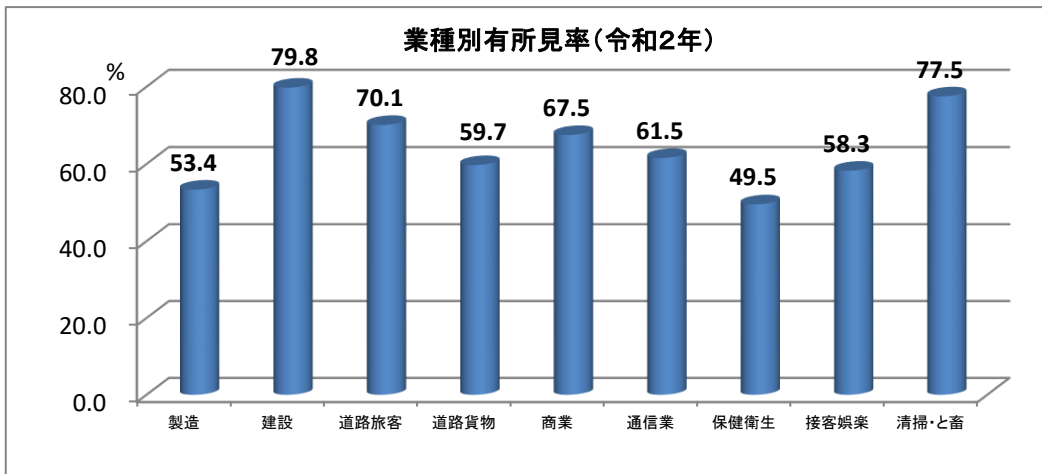
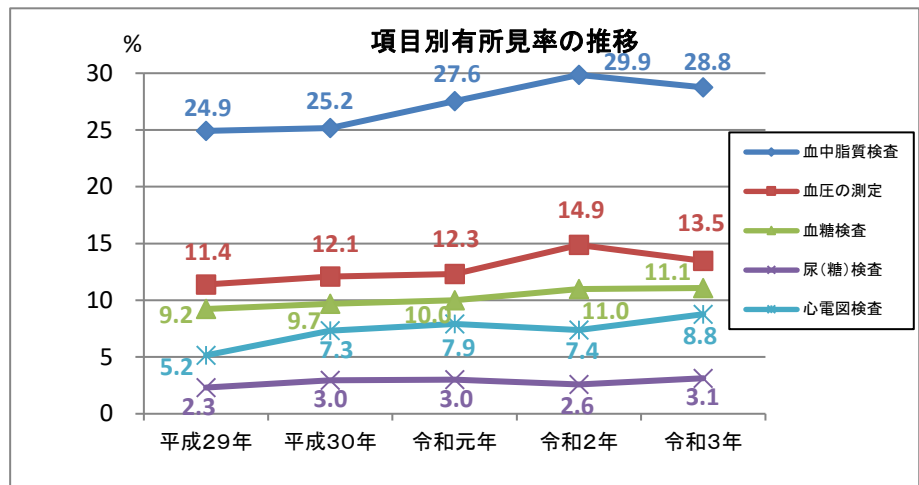
淡路労働基準監督署



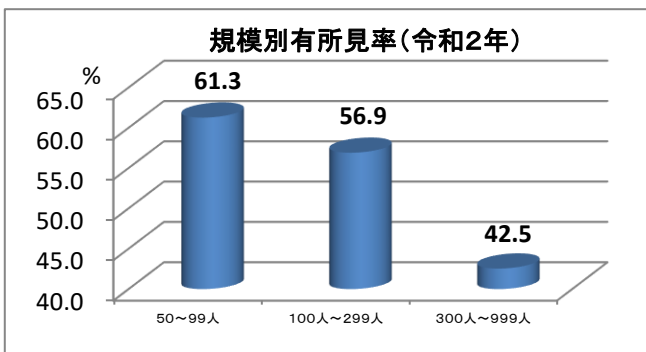
労働者数50人以上の事業場における定期健康診断有所見率の過去5年間の推移を見ると、平成29年では全国から3.5%、兵庫局から2.6%下回っており、その後も全国及び兵庫局を下回っている。しかしながら、平成29年以降から徐々に増加し、全国と兵庫局に近づきつつある。したがって、定期健康診断有所見率改善に向けた取組を推進することが喫緊の課題となっている。

項目別で見ると、血中脂質検査は平成29年に24.9%を記録して以降右肩上がり増加している。血圧の測定は平成29年に11.4%を記録して以降右肩上がり増加している。血糖検査は平成29年に9.2%を記録して以降右肩上がり増加している。心電図検査は平成29年に5.2%を記録して以降右肩上がり増加している。尿(糖)検査は2%台～3%台で推移している。

このため、血中脂質検査は有所見率の数値が大きく、全体の有所見率に大きく影響を与えている。

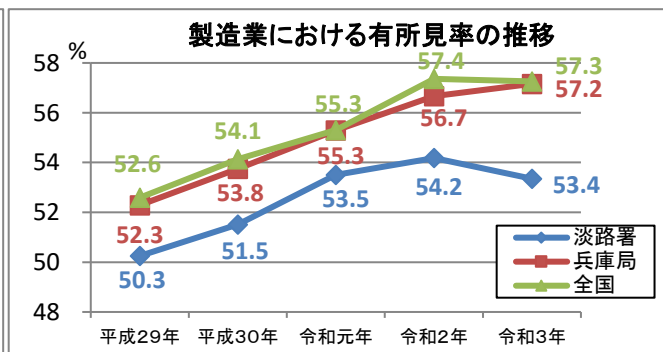


業種別では、建設業が最も高く79.8%、清掃・と畜業77.5%、道路旅客運送業70.1%、商業67.5%、通信業61.5%、道路貨物運送業59.7%、接客娯楽業58.3%、製造業53.4%と続いている。なお、建設業、清掃・と畜業、道路旅客運送業、商業、通信業、道路貨物運送業、接客娯楽業において、全体の有所見率を上回っている。

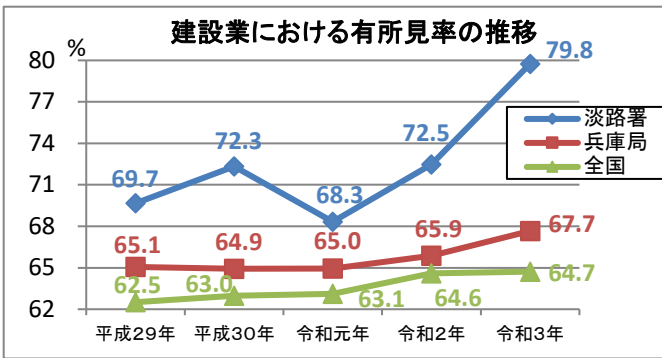


規模別では、規模が小さい事業場程、有所見率が高くなっている。

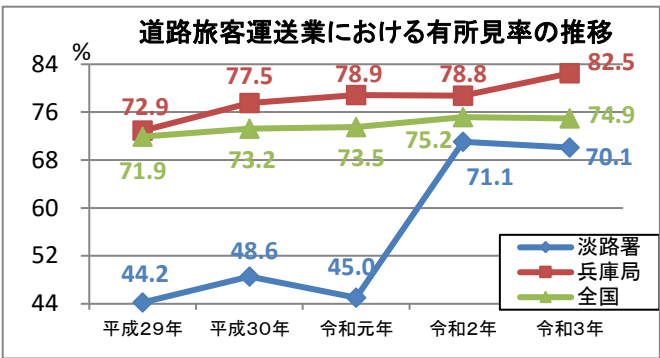
雇用している労働者が300人以上の事業場では、有所見率が全体の有所見率を下回っている。



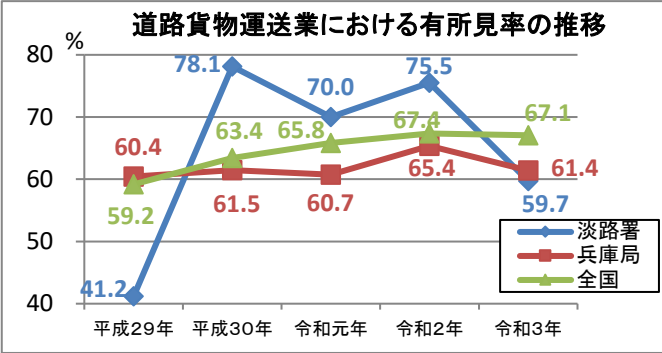
製造業では、平成29年以降、全国、兵庫局を共に下回っている。しかしながら、平成29年に50.3%を記録して以降、令和2年まで右肩上がり増加しているが、令和3年は53.4%と少し減少に転じている。



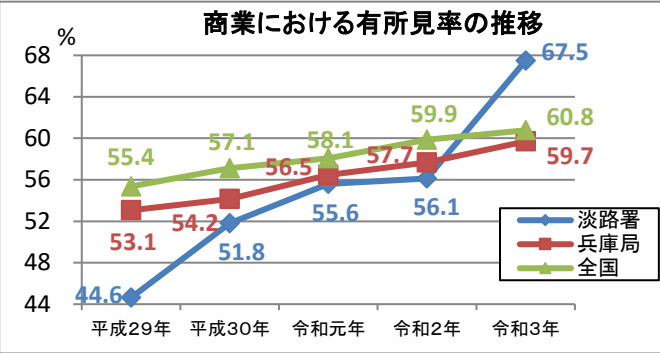
建設業では、平成29年以降、全国、兵庫県を共に上回っている。また、平成29年に69.7%を記録して以降(令和元年を除く)、右肩上がりが増加している。さらに、令和3年は79.8%と激増し、全国、兵庫県よりも10%以上も上回っている。



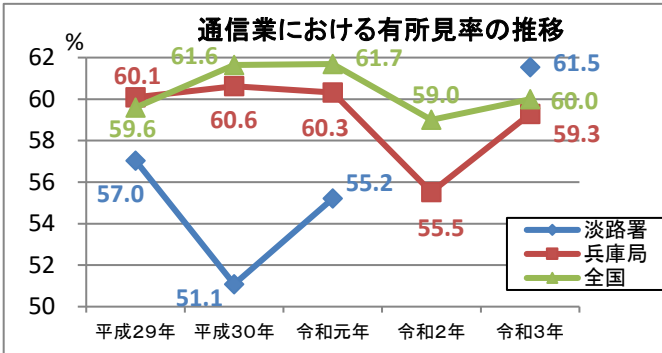
道路旅客運送業では、平成29年以降、全国、兵庫県を共に下回っている。しかしながら、平成29年から令和元年までは、50%を下回っているものの、令和2年は71.1%と激増し、令和3年は70.1%と高止まりの傾向にある。このため、全国、兵庫県に近づきつつある。



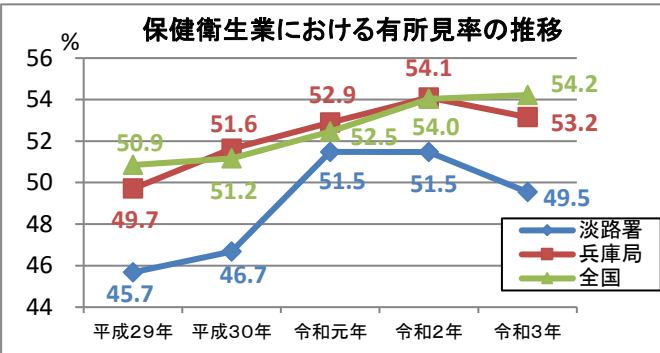
道路貨物運送業では、平成29年は全国、兵庫県を共に下回り、平成30年から令和2年までは全国、兵庫県を共に上回っているが、令和3年は再び全国、兵庫県を共に下回っている。平成29年は41.2%であるものの、平成30年に78.1%と激増しているが、令和3年は59.7%と激減している。



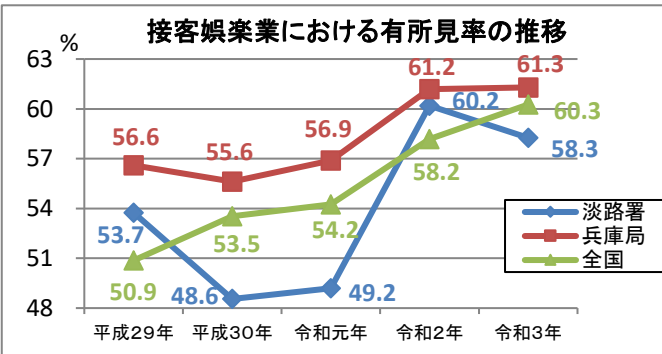
商業では、平成29年から令和2年までは、全国、兵庫県を共に下回っている。しかしながら、平成29年は44.6%であるものの、平成29年以降、右肩上がりが増加している。また、令和3年は67.5%と激増し、全国、兵庫県よりも5%以上も上回っている。



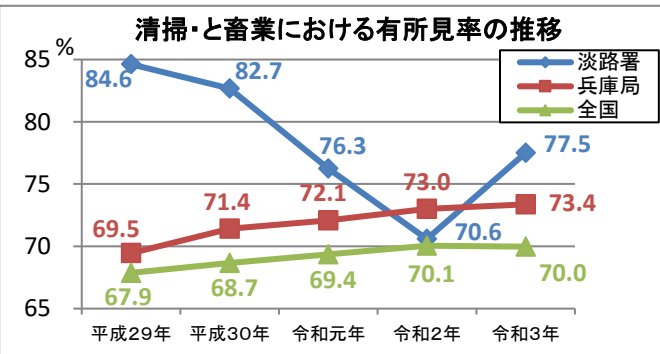
通信業では、平成29年から令和元年までは、全国、兵庫県を共に下回っている。しかしながら、令和3年は61.5%と激増し、全国、兵庫県を共に上回っている。



保健衛生業では、平成29年から令和2年までは、全国、兵庫県を共に下回っているものの、右肩上がりが増加している。しかしながら、令和3年は49.5%と激減し、全国、兵庫県よりも5%近くも下回っている。



接客娯楽業では、平成30年、令和元年及び令和3年で、全国、兵庫県を下回っている。また、平成29年、令和2年で、兵庫県を下回っている。しかしながら、平成30年及び令和元年は、50%弱で推移しているものの、令和2年に60.2%と激増しているが、令和3年には、58.3%まで減少している。



清掃・と畜業では、平成29年に84.6%を記録して以降、右肩下がりで減少しているが、令和3年に77.5%に増加している。また、平成29年は、全国、兵庫県よりも15%程度上回っているが、令和2年には、全国と同水準まで減少しているところ、令和3年は全国、兵庫県を共に上回っている。

資料出所：定期健康診断結果報告書による。